施工完了チェックシート

確認日	年　月　日
確認者	

1□から5□を チェック

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1 □ クリップ・クリップキャップを正しく取り付けていますか

●クリップ・クリップキャップが確実に入っていますか。
●クリップが回りますか。
●ホースを引っ張っても抜けませんか。

つまみながらスライドしてはめ込む
〈クリップを回して軽く回ること〉
クリップ
クリップキャップ
奥まで確実にはめ込む

2 □ 止水栓を開けていますか

●水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
●十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3 □ 水漏れしていませんか

●水漏れがないか必ず確認してください。
●水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4 □ 電源は入っていますか

●電源ランプは点灯していますか。

5 □ 着座センサーは正常に働きますか

●着座センサーに手をあてるとノズル付近から圧力逃がし水が便器に流れ落ちます。
●着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。ビニール袋などを便器にはさみ、着座センサーに手をかざしたまま、おしり または ビデ を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

スパナ
開
電源ランプ
ビニール袋など

 ●試運転は、必ず行ってください。

お知らせ ●洗浄中は、ノズルの左から水が流れ出ますが、圧力逃がし水ですので故障ではありません。

パナソニック株式会社　トワレ・ヒーティングビジネスユニット

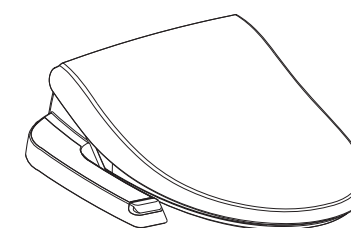
〒639-1188　奈良県大和郡山市筒井町800番地

DL949A-B4CP0
CS0709-0

Panasonic

設置工事説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番　DL-UB20

安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

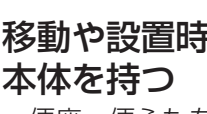
■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

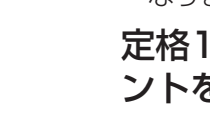
アース線接続

D種接地工事を行う

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う

説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は、内線規程に従って施工する

内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける

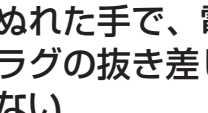
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

水場使用禁止

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

感電や火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

上水道以外には接続しない

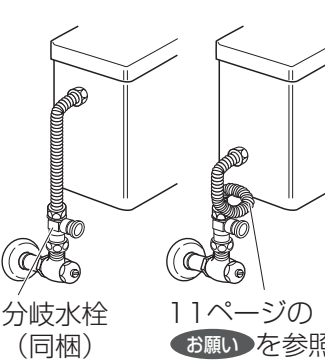
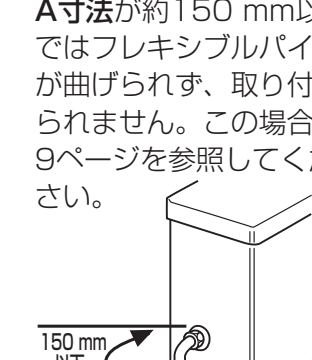
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

⚠注意

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う

条例に基づいて行わないと、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ

便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

設置の前に

お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とかしてから設置する。
- **必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。**

お知らせ

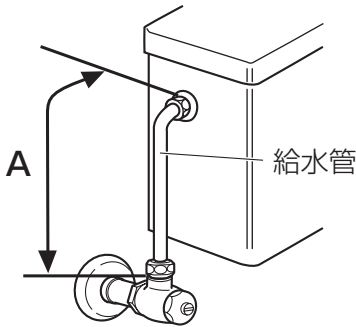
- 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm^2} です。
- **この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。**

■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは350 mmです。

フレキシブルパイプは切断しないでください。

右図の**A寸法**が、約150～380 mmの場合は、取り付けできます。

上記以外で下記②③の場合は、**部材購入**が必要です。

①A寸法が約150～380 mmの場合の設置例

②給水管が短い場合または外れない場合

A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。

③A寸法が約150～380 mm以外の場合

別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆AD-HS25B	630円（税抜600円）
	300 mm	☆AD-HS30B	704円（税抜670円）
	400 mm	☆AD-HS40B	809円（税抜770円）
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

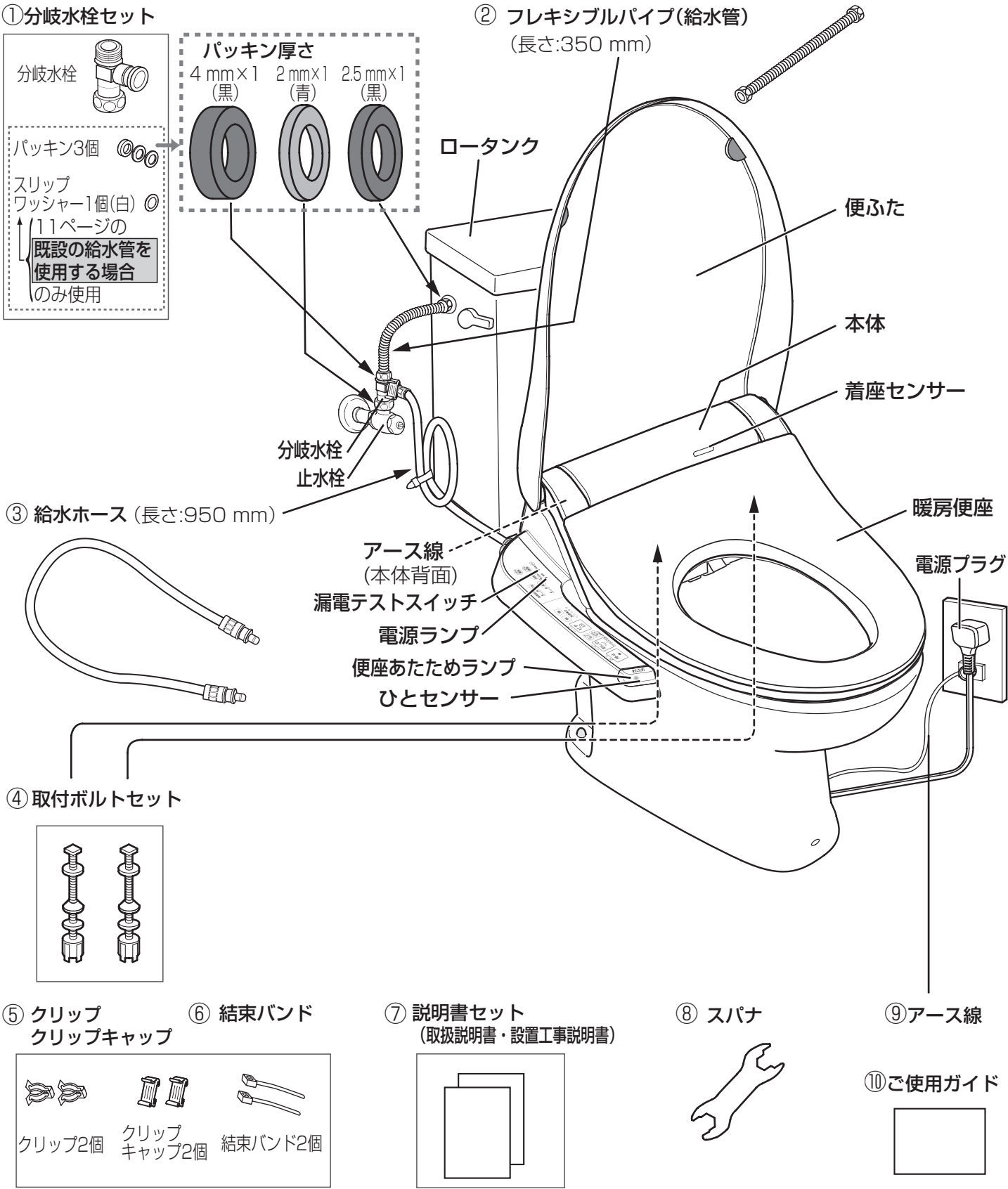
☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。

価格は2009年7月現在の希望小売価格です。

価格・品番は変更される場合があります。

準備

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

【同梱部品】

番号	部品名		部品品番 ※	数量
①	分岐水栓セット （分岐水栓 パッキン 薄い:黒2.5 mm厚さ×1 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 厚い:黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー (白)×1）		DL531A-PFC00	1
②	フレキシブルパイプ(給水管)		DL591A-X7JB0	1
③	給水ホース		DL432A-Z6JS2	1
④	取付ボルトセット		DL552A-X1JS0	1
⑤	クリップ・クリップキャップ		DL792A-Z1JS0	各2
⑥	結束バンド		TSL-150-I	2
⑦	説明書セット	取扱説明書	DL940A-B4CP0	1
		設置工事説明書	DL949A-B4CP0	
⑧	スパナ		DL972A-X7JB1	1
⑨	アース線(本体接続済み)		DL193A-X3KB2	1
⑩	ご使用ガイド		DL945A-B4CP0	1

※部品品番は予告なく変更することがありますので ご了承ください。

【別売品】 (サービスルート扱い)

記号	部品名	部品品番 ※	数量
Ⓐ	別売分岐水栓・キャップセット (9ページ) （分岐水栓、説明書 キャップカバー キャップA パッキン大 :黒2.5 mm厚さ×1）	ADL531A-B4JS	1

※別売品のⒶは、配管の状態によって必要な 場合があります。販売店でご購入ください。

お知らせ

- 操作音について
  各スイッチを押すと、本体より操作音が「ピッ」と鳴ります。ただし、停止スイッチ、各スイッチの「切」設定時の操作音は「ピー」、操作を受け付けないときは「ピピピ」と鳴ります。

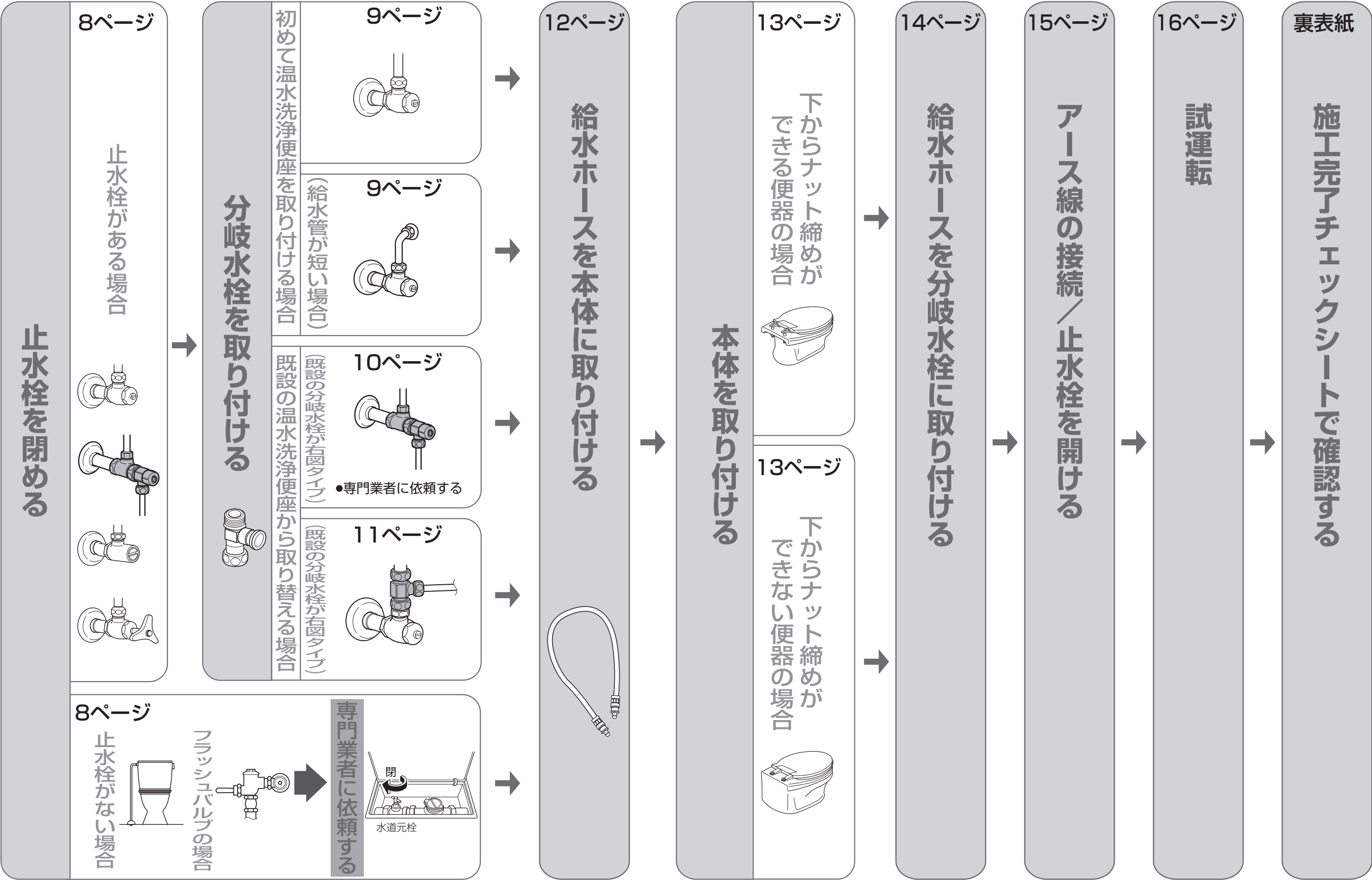
ご注意

- 同梱のパッキンをご使用ください。
  (他のパッキンをご使用されますと接続部が破損するおそれがあります)

準備

設置工事の流れ

止水栓を閉める
8ページ
止水栓がある場合
8ページ
止水栓がない場合
フラッシュバルブの場合
専門業者に依頼する
閉
水道元栓
分岐水栓を取り付ける
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合
9ページ
（給水管が短い場合）
9ページ
既設の温水洗浄便座から取り替える場合
（既設の分岐水栓が右図タイプ）
10ページ
●専門業者に依頼する
（既設の分岐水栓が右図タイプ）
11ページ
12ページ
給水ホースを本体に取り付ける
本体を取り付ける
13ページ
下からナット締めができる便器の場合
13ページ
下からナット締めができない便器の場合
14ページ
給水ホースを分岐水栓に取り付ける
15ページ
アース線の接続／止水栓を開ける
16ページ
試運転
裏表紙
施工完了チェックシートで確認する

設置

止水栓を閉める

■止水栓がある場合

止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

9〜11ページ　分岐水栓を取り付ける

■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐水栓を取り付ける　〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

1. 水道の元栓を閉める
2. 給水管に分岐水栓を取り付ける

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

1. 水道の元栓を閉める
2. 分岐水栓を取り付ける
   - ●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
   - ●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
   - ●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。
     1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
     2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
     3. 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
     4. アダプターに分岐水栓を接続する。

〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉
フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合	フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合		
図① 分岐口 ☆AD-TH343R	図② 図②のA寸法が120 mmの場合 ☆AD-TH484 / 図②のA寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R (1S) / 図②のA寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R (1S)	図③ 曲がり管 図③のように曲がり管の場合 ☆AD-TH484-1	

INAX製の場合

1. 水道の元栓を閉める
2. ⓐ部を外す
3. フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

65年〜78年7月までの一般用
☆AD-K014GWS（INAX製）
78年8月〜90年5月までの一般用
☆AD-K012GWS（INAX製）
90年6月以降の新型節水用
☆AD-K011GWS（INAX製）

（別売品一式）

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける　初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

★は、同梱部品です。
Ⓢは、サービスルート扱い（別売品）です。

1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

2 分岐水栓を止水栓に、取り付ける

〈分岐水栓の締め付け方〉

11ページ　分岐水栓を取り付ける　2 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

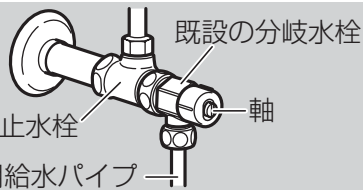
下記の別売品を販売店で購入してください。

ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合や、給水管が外れない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品Ⓐ〉別売分岐水栓・キャップセット（品番：ADL531A-B4JS）

- パッキン(大) 1個（黒2.5 mm厚さ）
- キャップA(大) 1個
- キャップカバー1個
- 分岐水栓 1個（パッキン付き）
- 説明書 1枚

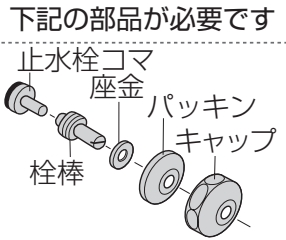
1. 水道の元栓を閉める
2. 別売品の分岐水栓を取り付ける
3. 本体同梱の分岐水栓を取り付ける

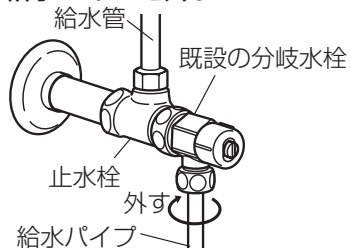
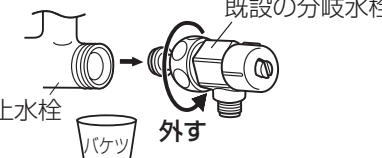
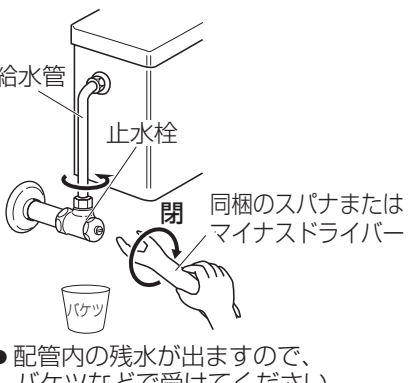
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

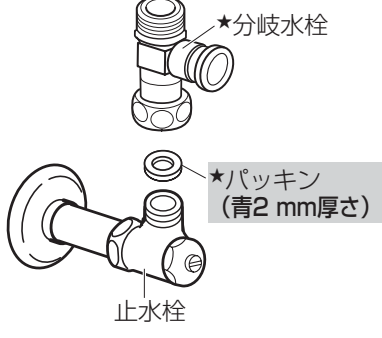
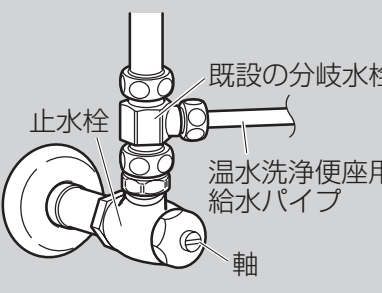
設置

分岐水栓を取り付ける

既設の温水洗浄便座　から取り替える場合

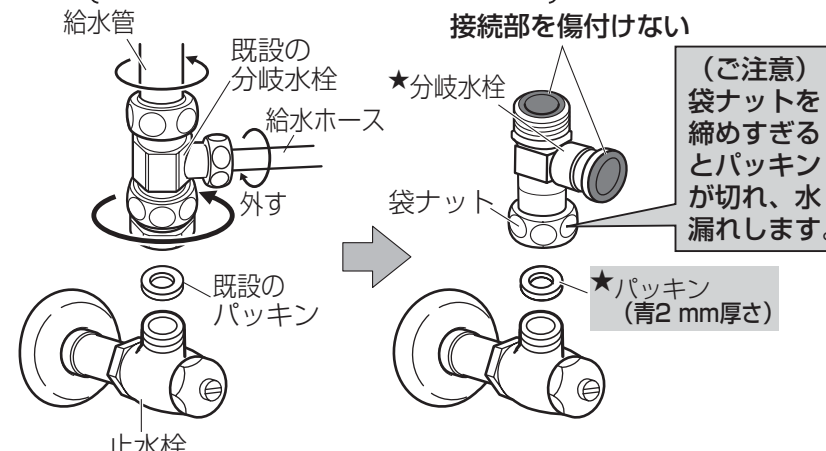
★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が右図のタイプ Ⓐ

止水栓を元に戻す必要があります（専門業者に依頼してください）

❶ 水道の元栓を閉める
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

❷ 給水パイプを外す

❸ 既設の分岐水栓を止水栓から外す
- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ 止水栓を元にもどす

❺ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す
- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❻ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける
〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

11ページ　分岐水栓を取り付ける　❷ 給水管の取り付け

既設の分岐水栓が下図のタイプⒷ

❶ 給水管を外してから、同梱の分岐水栓に交換する
〔〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照〕

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 給水管の取り付け

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

口径：G1/2

お願い

フレキシブルパイプは
- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない（折れることがあります）
- 曲げるときは袋ナットを両端に寄せてからL型に曲げる（袋ナットが移動できなくなります）
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

（ご注意）
ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする

- ボールタップが回転しないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

既設の給水管を使用する場合

- 分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。

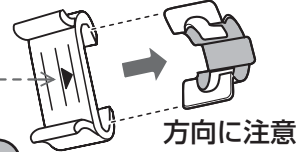
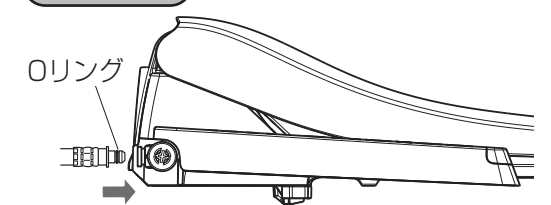
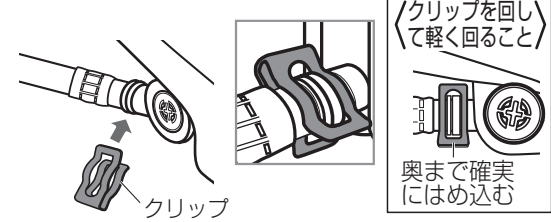
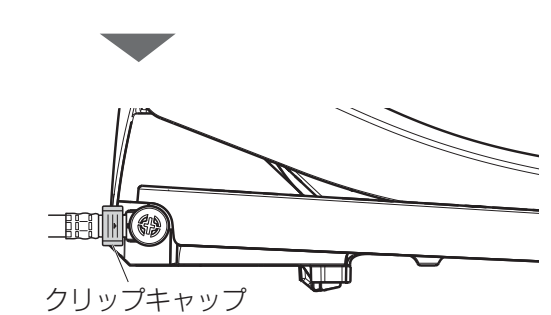
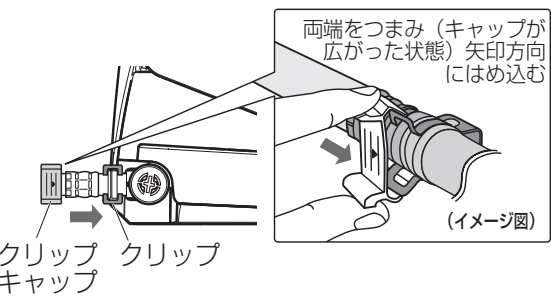
12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

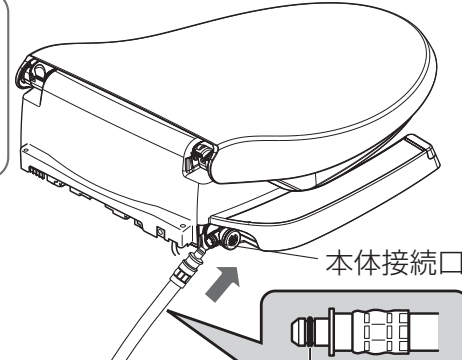
設置

給水ホースを本体に取り付ける

❶ **本体への接続**

1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口に**まっすぐ**差し込む。
2.クリップを給水ホースと本体接続部に奥まで差し込む。
3.クリップにクリップキャップを▶の方向に確実にはめ込む。

方向に注意

ご注意
● 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

本体接続口

（ご注意）両先端にOリングが付いていることを確認すること

正しい接続

Oリング

クリップを確実にはめ込む

〈クリップを回して軽く回ること〉

奥まで確実にはめ込む

クリップ

クリップキャップをはめ込む

両端をつまみ（キャップが広がった状態）矢印方向にはめ込む

（イメージ図）

クリップキャップ　クリップ

クリップキャップ

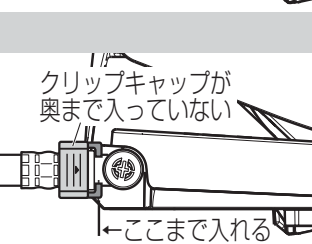
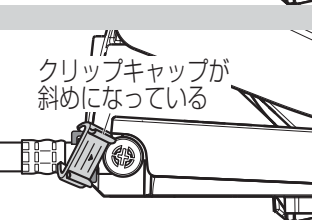
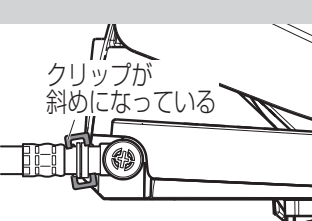
悪い接続例

※確実にはめ込まないと水漏れの原因となります。

クリップが斜めになっている

クリップキャップが斜めになっている

クリップキャップが奥まで入っていない

←ここまで入れる

お知らせ

給水ホースが短い場合は、**別売品**を販売店で購入してください。
1.3 m用　AD-DQPGW13
2.5 m用　AD-DQPGW25

ご注意
● 給水ホースは切断しない
● 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない

本体接続口

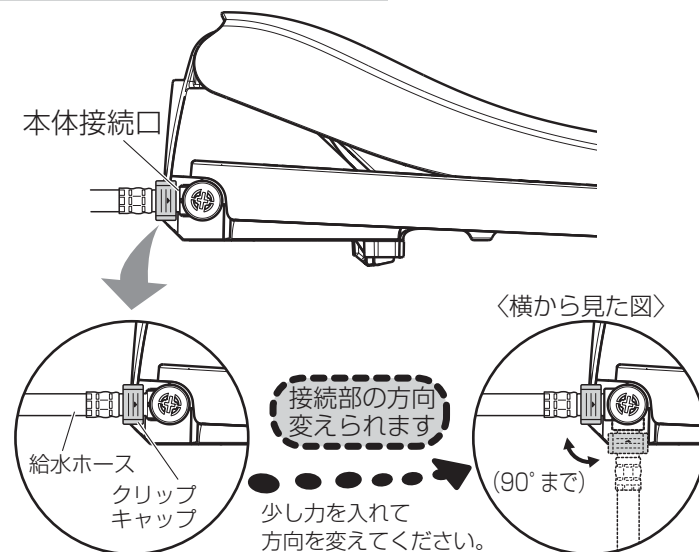
〈横から見た図〉

給水ホース

クリップキャップ

接続部の方向変えられます

（90°まで）

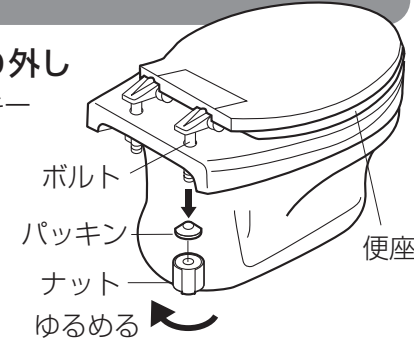
少し力を入れて方向を変えてください。

❷ **必ず確認**

● クリップキャップが正しくはめ込まれているか確認してください。
● 給水ホースを引っ張って、本体から抜けないことを確認してください。

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

❶ **既設便座の取り外し**

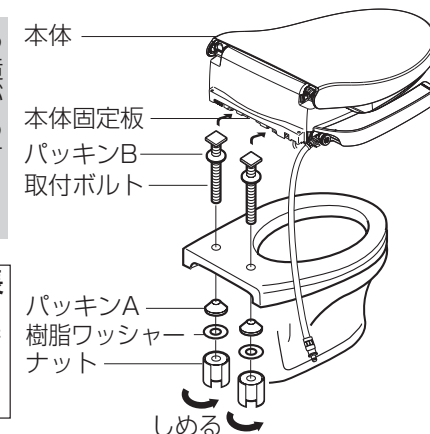
1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

（ナットがさびてゆるまないときは）
● 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
● 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

❷ **本体の取り付け**（同梱の取り付けボルトセット使用）

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
2. 取付ボルトを本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
3. パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかり締め付ける。

（お願い）工具でナットを締め付けないでください。

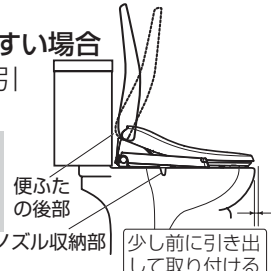
本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

取付ボルトが長すぎるときは
● 金のこなどで適当な長さに切断する。

■便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合
⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。
■便器によって便座が倒れやすい場合
⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。

便ふたの後部

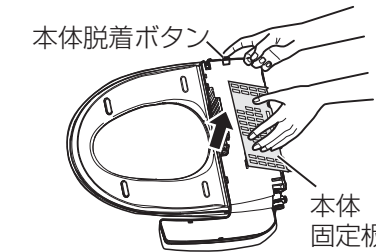
ノズル収納部

少し前に引き出して取り付ける

下からナット締めができない便器の場合

❶ **既設便座の取り外し**

固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
● 取り外した部品は、取り付け時に使用します。

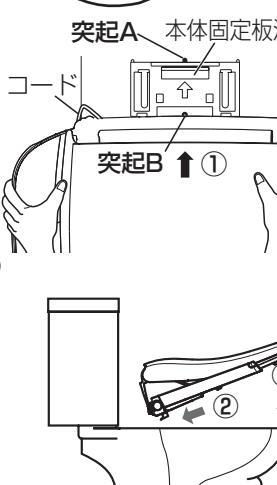
❷ **本体固定板の取り外し**

本体裏面より本体固定板を取り外す。

● 本体脱着ボタンを押しながら本体固定板を持ち上げる。

❸ **本体固定板の取り付け**（既設の部品を使用）

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。

❹ **本体の取り付け**

①右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。
● コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
● 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

取付

給水ホースを分岐水栓に取り付ける

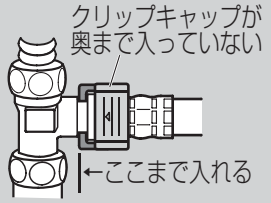
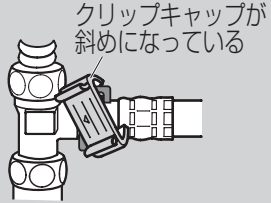
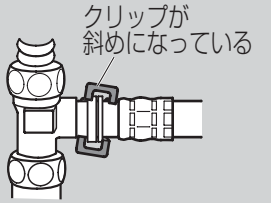
❶ 分岐水栓への接続

1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐水栓の接続口に**まっすぐ**差し込む。

（ご注意）給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

2.クリップを給水ホースと分岐水栓接続部に奥まで差し込む。

3.クリップにクリップキャップを◀の方向に確実にはめ込む。

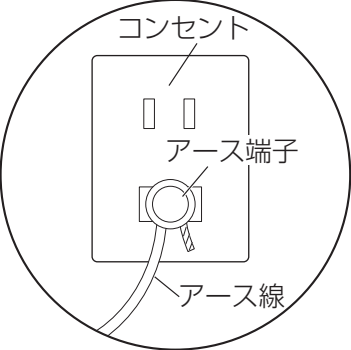
ご注意

- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 付属の結束バンド以外で結束しない
- 給水ホースは小さく曲げない（小さく曲げると折れて水の流れが悪くなるおそれがあります：最小曲げ半径約10 cm）

❷ 必ず確認する

- **クリップキャップが正しくはめ込まれているか確認してください。**
- **給水ホースを引っ張って、分岐水栓から抜けないことを確認してください。**

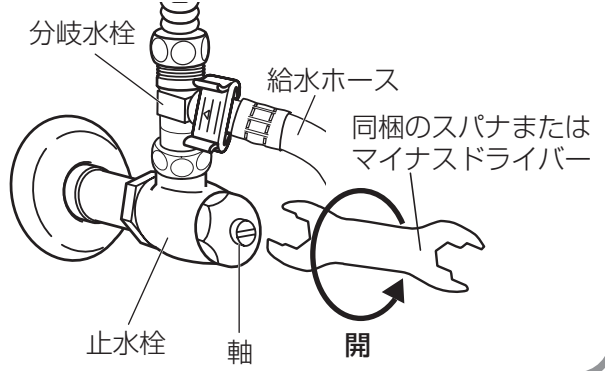
アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

取付

試運転

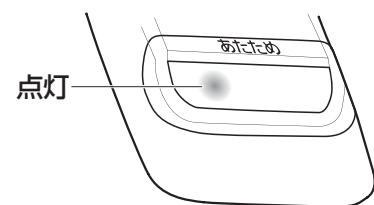
試運転の前に… 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手　順

❶ **本体梱包用のビニール袋などをはさむ**
（便座と便器の間）

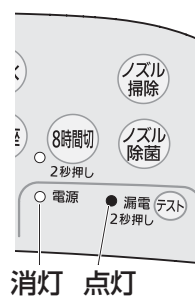
❷ **電源プラグを差し込む**
- 電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
- 便座あたためランプが点滅して点灯に変わります。（便座温度が約30 ℃以上の場合は、すぐに点灯します）

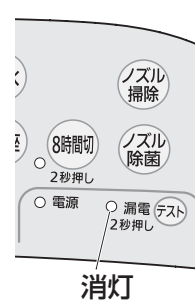
操作部

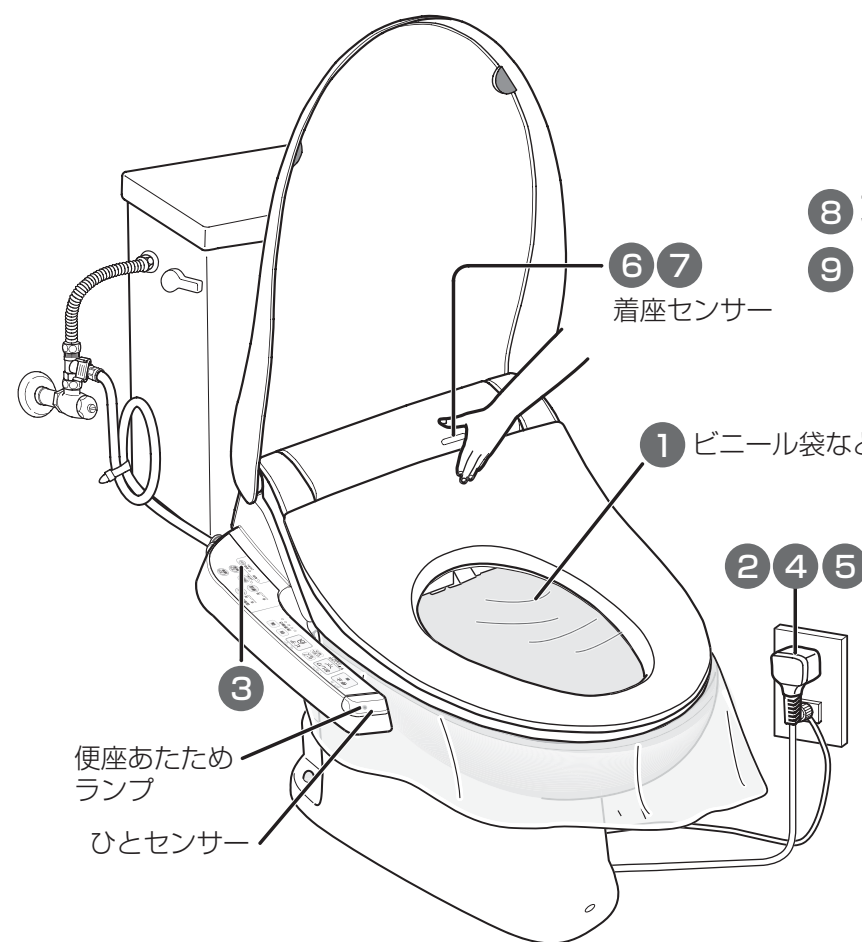
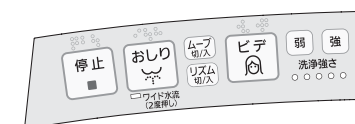
点灯

❸ **漏電テストスイッチを2秒以上押す**
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
（漏電ランプ点灯、電源ランプ消灯）

消灯　点灯

❹ **電源プラグを抜く**
- 4〜5秒待って、漏電ランプが消灯することを確認する。

消灯

❺ **電源プラグを差す**
- 電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
- 便座あたためランプが点滅して点灯に変わります。（便座温度が約30 ℃以上の場合は、すぐに点灯します）

点灯

❻ **着座センサーに手をかざす**
- ノズル付近から圧力逃がし水が便器に流れ落ちます。
- 着座センサーが作動し脱臭が始まります。

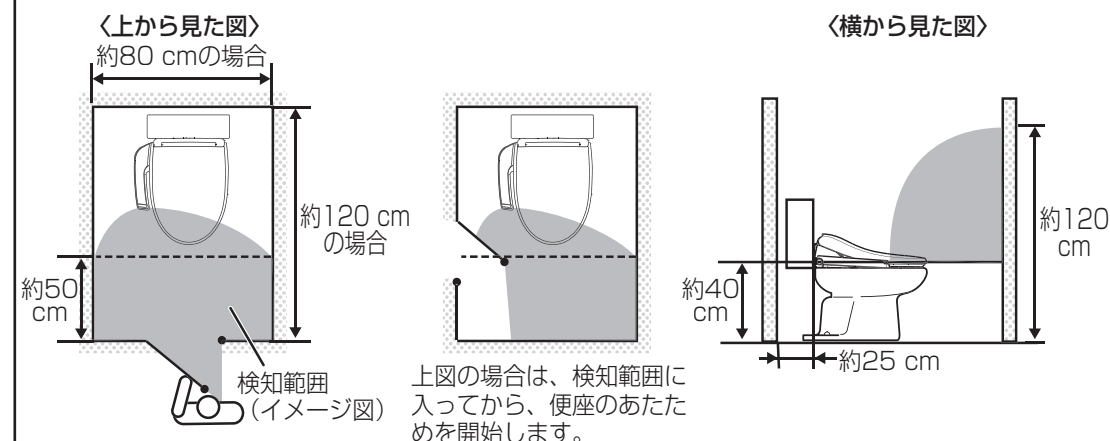
❻❼ 着座センサー
❶ ビニール袋など
❷❹❺
❸
便座あたためランプ
ひとセンサー

❼ **そのまま手をかざしながら、［おしり］または［ビデ］を押しビニール袋の上から手をあて温水が出ることを確認する**
（温水が出ない場合は、温水温度スイッチを切り換えてください）
- 止めるときは［停止］を押す。
- 着座センサーから手を離すと、ノズルを洗浄します。

❽ **取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする**

❾ **ビニール袋を外す**

ひとセンサーについて

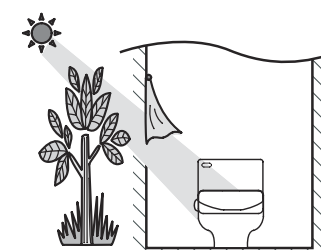
■ひとセンサーは人（発熱体）の動きを検知し、便座の瞬間暖房を自動で行います。
冬場など室温が低いときは、便座が約30 ℃になるまで約5秒かかります。

検知範囲の目安

■人が検知範囲に入ってから便座のあたためを開始します。
- ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音が鳴ります。

確認方法

①一旦、トイレから外に出る。（便座の温度を下げるため）
②3分以上経過後、入室し、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。（ただし、便座の温度が約30 ℃以上の場合は点滅せずに点灯します）

お知らせ

- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。
- ひとセンサーが人を検知すると、便座のあたためを開始します。室温が30 ℃を超えたり直射日光が当たったりすると作動しない場合があります。
（人と周囲の温度の差が少ないときは熱の変化を検知しにくいためです）

こんなときは

現象	考えられる原因	処置方法	参照ページ
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	15
	水道水フィルター（水抜き栓）がつまっている	掃除する	取扱説明書
	ロータンクに水が給水中	水が貯まるのを待つ	ー
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	15
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着（Oリング）	Oリングのゴミを取り除く	12 14
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	ー
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クリップのはめ込み不足やずれ（クリップを回して軽く回ること）（奥まで確実にはめ込む）	確実にはめ込む（クリップ）（クリップキャップ）	12 14
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電ランプが点灯）（消灯　点灯）	電源プラグをコンセントから抜き、漏電ランプが消灯してから電源プラグを差し込む（電源プラグ）	16
温水ランプが全点滅する（低　高　温水）	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	止水栓を開にし、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	15 16
ひとセンサーが検知しない	人がいても体の動きがない	体を動かしてください（センサーは熱の変化を検知する）	17

工事後の注意　凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

メモ欄